

カバン
愛だけを鞆につめて、ローズはやってきた。

'91アカデミー賞最優秀主演女優賞
助演女優賞/ミネート

'91モントリオール国際映画祭
最優秀主演女優賞受賞

'92全米インディペンデント・スピリット賞受賞
作品賞/監督賞/助演女優賞

主演：ローラ・ダーン

ロバート・デュバル/ダミアン・ラッド

ルーカス・ハース/ジョン・ハード

ケビン・コンウェイ/ロバート・パーク

監督：マーサ・クーリッジ

製作：レニー・ハーリン

原作・脚本：カルダー・ウィングラム(扶桑社文庫)

製作総指揮：マリオ・カサル&エドガー・J・シエリック

撮影監督：ジョニー・E・ジエンセン

プロダクション・デザイナー：ジョン・ハロン

音楽：エドワード・ヤムススタイン(セントラリス CD/ヴァージン・レコード)

編集：スティーブ・コーン/衣装：ジェーン・ロビンソン

Rambling Rose



ランブリング・ローズ

MARIO KASSAR produced by LENNY HARLIN with MARTHA COOLIDGE as
LAURA DERN DIANE LAYO LUKAS HAAS with ROBERT DUBIEL as SAM RAMBLING ROSE
JOHN HARDY as BEN RUCKS with JEFF PERPETUO as BOB STEVEN OWEN as
EDGAR LISKCHIZKY as ALLEN WILLINGHAM with JIMMY E. JENSEN as MARIO KASSAR
and EDGAR LISKCHIZKY as ALLEN WILLINGHAM with CALIEP WILLINGHAM
Produced by LENNY HARLIN with MARTHA COOLIDGE
©1991 Carolo International N.V. All rights reserved.

1991年アメリカ映画/カルコ製作/提供：パイオニアLDC/日本ヘラルド映画/配給：日本ヘラルド映画

ランブリング・ローズ

モンリオール国際映画祭主演女優賞受賞

全米インディペンデントスピリット賞、作品賞、監督賞、助演女優賞 受賞

主演：ローラ・ダーン

ロバート・デュバル/ダイアン・ラッド

ルーカス・ハース


監督：マーサ・クーリッジ

原作：カルダー・ウィリンガム(扶桑社文庫)

サウンドトラックCD(ヴァージン・レコード)

提供：パイオニアLDC、日本ヘラルド映画

1991年/アメリカ映画/カロルコ製作

配給：日本ヘラルド映画 

上映時間：1時間53分



Motion Picture ©1991
Caracol International N.V.
All rights reserved.



実力派スタッフ、キャストが
勢揃い。

主人公ローズを演じるのは、カンヌ・グランプリ作品「ワイルド・アット・ハート」で強烈な印象を残したローラ・ダーン。この役をどうしても演じたかったという熱意が、スクリーンから伝わってくる、まさにまり役だ。そしてこの物語の語り部であり、ローズに憧れる13歳の少年バディを演じるのは「刑事ジョン・ブック/目撃者」のルーカス・ハース。優しく寛大な父親ヒラー氏は、アカデミー賞受賞俳優ロバート・デュバル。ヒラー夫人を演じるのは、ダーンの実の母であるダイアン・ラッド。「ワイルド…」に続く親子競演が実現した。

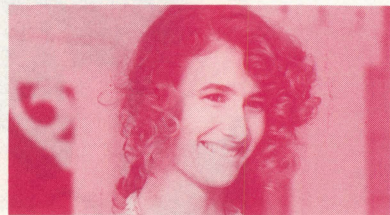
監督のマーサ・クーリッジは、ドキュメンタリーもので数々の賞に輝く才媛。脚本に惚れこんだという彼女の言葉通り、女性の目を通して、ノスタルジーに流されない実物大のローズ像が描かれている。

この、実力派キャスト、スタッフを配しての映画化実現のかげに、製作者として「ダイ・ハード2」のレニー・ハーリンが携わっていることも話題である。

あるがままの自然体で
生きるローズ。
誰もが彼女の愛を受け
入れずにはられない。

1935年のある暑い日、ジョージア州のヒラー一家に、ローズ(ローラ・ダーン)という、背のヒョロ長い、見るからに田舎娘がお手伝いさんとしてやってくる。知的で情け深い母親(ダイアン・ラッド)、寛大な父親(ロバート・デュバル)、そして思春期の長男バディ(ルーカス・ハース)を始めとする3人の子供たちとの関係もうまく行き、ローズの新たな人生は、順調にスタートしたかに思えた。しかし、ローズにはその素直で優しい性格とは関わりなく、彼女自身にもどうにもならないある性癖があったのだ。幼い頃親に捨てられ、青春時代を売春宿で過ごした彼女は、異常ともいえる性欲過多で、男たちとのトラブルをヒラー一家に持ちこみ始めたのである。事実を知った一家が取った行動とは。そして、ローズに憧れ、また彼女によってはじめて性の目覚めを知ったバディの初恋は……。

封建的な気風の残る土地で、女性が自分のあるが儘に生きようとするのが困難な時代に、自分の生き方を変える事なく幸せを求め続けた女性と、彼女の生き方を認め温かく見守ろうとした勇氣ある一家の心の交流は、我々にさわやかで力強い感動を与えてくれる。そしてローズのように生きる女性だけが持つすがすがしく美しい魅力に、誰もが愛らしさを感じ、純真な心から生まれる輝きに目を細めてしまうのだ。



女性の優しい目線で描かれた
愛の最高傑作が誕生。

1935年、アメリカ南部で、古いしきたりに捕らわれず寛容に生きようとする家族のもとに一人の風変わりな娘が飛びこんできたことから、彼女がまき起こす様々な事件とそれを優しく見守る家族の愛を、温かくそして時にコミカルに描いた全く新しいタイプの女性映画の最高傑作が誕生した。

アメリカでは女性監督マーサ・クーリッジの演出はもとより、見る者の胸にさわやかな感動を呼ぶ出演者たちの素晴らしい演技が大絶賛され、主演のローラ・ダーンには91年度モンリオール国際映画祭最優秀主演女優賞がもたらされた他、全米インディペンデント・スピリット賞で3部門を受賞。本年度アカデミー賞、ゴールデン・グローブ賞でも幾多のノミネートを受けた秀作である。

Rambling
Rose

「女の子はセックスじゃなくて
愛を求めているのよ」

——ローズがそう言うのなら
本当だろう。彼女ほど本当に愛する
人を求めてさまよった人はいないのだから。



今秋、 東京

有楽町マリオン9F 03 (3201) 2881
丸の内ピカデリー2

コマ劇場前・地球会館4F 03 (3209) 6180
新宿ジョイシネマ1

ほが 全国松竹洋画系にて
ロードショー!